

3月定例会概要

平成30年第1回定例会を3月7日から26日までの20日間の会期で開催しました。

本定例会では平成30年度予算（11件）、平成29年度補正予算（15件（うち繰越5件）、条例の制定（3件）と一部改正（14件）、過疎地域自立促進計画の変更（1件）、指定管理者の指定（12件）、工事請負変更契約の締結（1件）の計57議案と人事案件（1件）、専決処分の報告（2件）、町人会への議員派遣が上程され審議されました。

初日の7日には椎木町長より、平成30年度における重点政策として、「定住対策」「防災安全対策」「健康づくり」への取り組みと、地域に密着した事業を中心に「至誠」と「調和」を意識しながら、課題解決に向けて果敢に取り組んでいくとの所信表明があり、続いて「岩国基地への空母艦載機移駐」「第7期介護保険事業計画における看護

小規模多機能型居宅介護の取り組み」「上下水道事業の窓口業務委託」「広域水道企業団大島ルート送水管破断事故」についての行政報告がありました。

その後に、平成29年度の補正予算、条例の制定と一部改正、指定管理者の指定等について説明と質疑が行われ、工事請負変更契約の締結を採決しました。

8日には、平成30年度の各会



▲完成した東和庁舎

計当初予算について説明と質疑があり、新年度予算案及び初日に上程された条例の制定を各常任委員会へ付託、平成29年度の補正予算については10議案を討論・採決しました。

常任委員会への付託については、民生常任委員会が12日に健康福祉部・税務課及び病院事業局関係を、総務文教常任委員会は13日に議会事務局・会計課・総務部・総合支所及び教育委員会関係を、建設環境常任委員会は14日に産業建設部及び環境生活部関係を、それぞれが十分な審議を行いました。

また、20日には全員協議会が開催され、「柳井地域広域水道企業団大島ルート送水管破断事故」「公有地の取得及び処分」について、今後の対策や見通しに関し、様々な議論が交わされました。

23日の一般質問では4名の議員が登壇し、「艦載機移駐に伴う安心安全対策について」「水道断水事故を踏まえて水の確保について」「町民への情報提供について」「町が事務局を担う

団体への補助金について」「東南海・南海地震に備えて」「原子力発電の建設及び再稼働について」「防災対策について」「町内バス路線の利用促進と維持について」、多くの議論が交わされました。

そして最終日の26日には、各常任委員長から付託案件の審査報告があり、これに条例の一部改正及び指定管理者の指定等を加え、これらを討論・採決。また、繰越に関する追加補正予算（5件）についても審議が行われ、本定例会に上程されたすべての議案は原案のとおり可決、人事案件も適任・同意のうえ閉会となりました。



▲志佐漁港海岸保全施設
(平成29年度工事)